



迎春

環境都市あきる野

七転び八起きの象徴として知られるだるま。都内に8軒あるだるま生産者のうちの1軒が市内にあります。約140年続く家業のだるま作りを10歳のころから手伝って40年、工房にずらりと並んだだるまを手際よく仕上げている様子は、まさに職人技です。

だるまは、購入した人が黒目（だるまの左目、向かって右側）を入れることで開眼します。口は修行に耐えるために食いしぼり、あごひげは富士山、ひげは亀、眉毛は鶴を象って描かれています。

今年も皆さんの願いがかないますように。



森っこサンちゃん

郷土の恵みの森づくりを進めよう

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



市民の皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。旧年中は、市政に對しまして皆様のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

昨年末には、衆議院の総選挙と都知事選挙が同時に行われ、新政権が誕生するとともに新しい都知事が就任しました。わが国の経済状況は、依然として景気の低迷から抜け出せず、地方財政も社会保障関連経費の増加などと相まって、極めて厳しい状況にあります。新政策、新知事の下、今後の政策に期待するところですが、一方、市では行財政改革に積極的に取り組み、財政指標も改善されてまいりましたが、更なる行政改革により強固な財政構造を確立する必要がありますので、引き続き市役所職員が一丸となって効率的・効果的な行政運営に努めてまいります。

さて、昨年は、地域経済の活性化を図るため、地域経済活性化本部を設置するとともに、観光キャラバンやあきる野観光PRツアーなど、観光協会、商工会などと協働して事業を実施し、観光産業の育成に取り組んでまいりました。また、昨年1月には、天皇皇后陛下下に五日市郷土館をご視察いただき、改めて豊かな郷土の歴史・文化が見つめ直される機会となりました。そして、3月には、138年の歴史ある小宮小学校が閉校しましたが、閉校後は豊かな資源を生かした自然環境教育の拠点となる「小宮ふるさと自然体験学校」として生まれ変わりました。

あきる野市には、豊かな自然環境と先人たちが残してくれた素晴らしい歴史・文化があります。今年、この郷土（ふるさと）の財産である地域資源をより一層活かした地域活性化に取り組み、将来都市像である「人と緑の新創造都市」の実現に向け、また、「東京のふるさと」あきる野として誇りを持てるまちづくりを市民の皆様と共に進めていきたいと考えておりますので、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新しい年が皆様にとって希望に満ちた、飛躍の一年となりますようお祈り申し上げます、年頭のごあいさつとさせていただきます。

あきる野市長 白井孝